

科目名	子どもの保健Ⅱ					開講 キャンパス	神 園
担当者	葛 見 保 子						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本講義では、子ども時代に多い病気や事故について概説する。 この時期は、感染症にり患しやすい、感染に対する防御力である免疫と予防接種について説明し、病気の予防を理解させる。 また、事故の予防や虐待防止など、子どもの健やかな成長・発達を保障するために、家族、地域社会など子どもを取り巻く環境集団に求められる視点、それらを支える保健福祉行政の支援について解説する。						
授 業 の 到達目標	1) 子どもの病気の特徴について理解することができる。 2) 子どもの病気と予防（免疫と予防接種）について理解することができる。 3) 子どもの病気（主な感染症）について理解することができる。 4) その他の子どもに多い病気について理解することができる。 5) 子どもの環境と安全について述べることができる。 6) 児童虐待とその状況について説明ができる。 7) 保健福祉行政の支援（行政における母子保健）の有り方に対して、主体的に取り組むことができる。 8) 保健福祉行政の支援（母子福祉に関する行政機関）を理解することができる。						
学習方法	講義、ビデオ視聴、小テスト、レポート						
テキスト及び参考書等	1) 子どもの保健と支援 平山宗宏編 日本小児医事出版社 2) 参考書 子どもの保健Ⅱ 佐藤益子編 ななみ書房						
評価基準・方法	到達目標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			60		
小テスト等	○	○			10		
宿題・授業外レポート	○	◎	○		15		
授業態度			○		5		
受講者の発表							
授業への参加度			○		10		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	子どもの病気の特徴						
第 2 週	感染と免疫						
第 3 週	主な子どもの感染症（ウイルス感染症）						
第 4 週	主な子どもの感染症（ウイルス感染症）						
第 5 週	ウイルス以外の主な子どもの感染症						
第 6 週	ウイルス以外の主な子どもの感染症						
第 7 週	その他の子どもに多い病気						
第 8 週	感染症の予防（予防接種法・ワクチンの種類と病気）						
第 9 週	感染症の予防（学校感染症と出席停止期間）						
第 10 週	子どもの事故の実態と予防						
第 11 週	虐待の実態と防止						
第 12 週	子どもの事故防止（独立行政法人日本スポーツ振興センターの講義）						
第 13 週	子どものための保健福祉行政の支援（行政における母子保健）						
第 14 週	母子福祉に関する行政機関の役割						
第 15 週	母子保健事業						
第 16 週	まとめ（試験を含む）						
備 考	講義中にプリントで説明することもあります。ノートに整理しておいてください。						